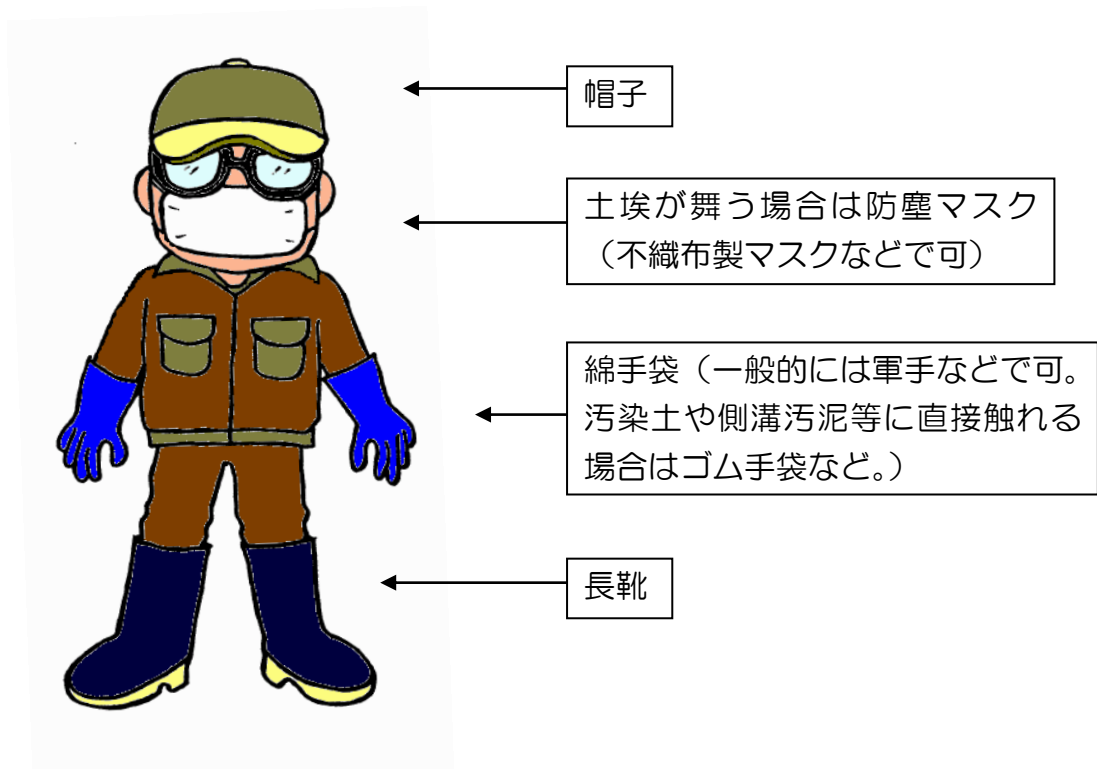


◀ 除染作業や側溝清掃作業を行う場合の服装や注意点 ▶

☆ 基本的な服装

- * 作業に適した長袖・長ズボン（怪我防止のため肌を露出しない動きやすい服装）、綿手袋、長靴、防塵マスク（土埃が舞う場合）

【服装例】



☆ その他

- * 作業中に飲食を行う場合や作業後は、手洗いうがいを行いましょう。
- * 衣類や長靴などに付着した汚れは水洗いや洗濯で再使用できます。
- * マスクは使い捨てとし、再使用はしないようにしましょう。
- * 夏は熱中症に注意し、こまめな休憩や水分補給を心掛けましょう。

◀ 除染作業や側溝清掃作業の方法や注意点 ▶

一般的に放射線は軒下や雨樋の排水口、側溝やマスなど雨水が集り滞留と乾燥を繰り返す場所で高い線量となる傾向が見られます。

これは、放射性物質が土などに吸着し、雨水の流れとともに寄せ集まったことによることが原因と考えられます。

この放射性物質を吸着した土ごと取り除く、または地中に埋設し、放射線を遮蔽(しゃへい)することにより放射線量を下げることができます。

★使用する道具

スコップ、草刈鎌、ホウキ、ちりとり、
ゴミ袋、土のう袋 など



★除染方法

【表土の削り取り】

- ① 雑草を除去する。
- ② スコップなどを使用して、軒下や雨樋下の表土を削り取る。
〔(参考) 場所や土質によって放射線量の浸透状況も異なるが、市が除染作業をした際、概ね表面を 5cm 削り取る程度で、放射線量を下げることができた。〕
- ③ 雨樋や軒下で雨水が集中して落下する場所で、地表面が砂利などの透水性がある場合は少し深めに削り取る。
〔(参考) その場所が砂土や砂利の場合は、より深く放射性物質が浸透しているので、更に下の水を透しにくい粘土質の層まで掘り下げる必要がある。〕
- ④ 雑草の根や芝に付着している土は土砂に、草部分は可燃ごみへと分別する。
- ⑤ 削り取った汚染土の埋設場所は、その場で更にその下の土を掘って入れ替える、いわゆる天地返しとするか、なるべく人が立ち入る機会が少ない場所を選定する。

〔(注意) 上下水道管など地下埋設物を損傷させないように、あらかじめ図面などで位置確認するなど注意が必要。〕

⑥ 汚染土を埋設する際は、汚染土が全て地中に埋まるように掘削し、30cm 程度覆土する。

※ 覆土する場合は、掘削した土のうち、表土を先に埋め戻し、汚染されていない底にあった土を最後に上に被せる。



【側溝や舗装面に溜まった泥や砂の除去】

- ① 雑草を除去する。
- ② スコップやホウキを使用して側溝やマス、舗装面に溜まった泥や砂、ゴミや落ち葉、コケ等を集めて取り除く。

※ 以下、【表土の削り取り】の④～⑥と同じ



問合せ：奥州市 市民環境部 生活環境課
24-2111

除染作業（環境係：内線 1255）

側溝清掃（生活衛生係：内線 1216）